

「私が見てきた被災地“福島” 2013～2018」

アネックスパル法円坂 市民ギャラリーで2月20日から

2011年3月11日に発生した東日本大震災はマグニチュード9.0という観測史上最大の地震でした。「一般財団法人 大阪市教育会館」は発生後すぐに教育復興支援ということで、サクラクレパスのご協力により、文房具を岩手教育会館に運び、岩手教育会館から被災した子どもたちに届けていただきました。それ以降、復興支援ということで、3月11日を忘れないために、バザーや震災写真展を開催してきました。



今回は、大阪市の中学校の教員で、被災地福島の支援に取り組んでいる教職員らのボランティアグループ「あいむひあ大阪」でも活動されている、木村英生さんの写真展を開催します。木村さんはおもに、福島県の南相馬市を中心に福島第1原子力発電所のメルトダウンにより被災した地域での支援活動の中で震災後の被災地の写真をずっと撮り続けられています。



震災・原発事故を風化させない、現在の・未来への自分たちの問題として考えてもらいたいという強い思いをもっておられます。

この写真展は、2月20日から3月31日まで、大阪市教育会館（アネックス パル法円坂）1階の市民ギャラリーで開催します。ご来場をお待ちしています。

会場 大阪市教育会館（アネックス パル法円坂）
1階 市民ギャラリー
大阪府中央区法円坂1-1-35
TEL 06-6943-5021

展示期間 2019（平成31）年2月20日（火）～3月31日（日）

開設時間 午前9時30分～午後5時 入場無料

